

流鏑馬笠掛書

聞書

和装本

ケ5

44

142







流錫馬笠掛之書聞書

道具調法之事


一弓ノ事ニ品藤トハ矢スリ裏ハツ本ハツシトニテ巻ナリ  
 裏ハツハ組違ニ巻ナリ又本ニ品藤トハスハツキアミ  
 テ有之ナリ白弦シカケサクリシハ山シ高クスルナリ山シ高  
 クスルワケハ矢ツカヒニ子カヨリ早クヨキナリ其上神道シモ  
 キ故ニ山シ高クスル時ハ早速矢ハツ弦ハカル先大カタ神事  
 ナルカ故ニ白木ニ用不定シノソクモノナリ今テハ

有徳院様御代ヨリ里ヌリノウシ用ルハ是弓ノリニセサルコシ



思召テナリ御簀本衆小緑衆中多故ナリ扱りハ二張持  
スルハ一張ハ袋ナリ袋ニ法式有因ニ記

一矢ノ一ノヌクニノ五筋ナリハウハウキハウノヌクハウナリ羽ハ雉女  
鳥ノ首ヨリ三枚目ノ羽ヲコリハキト云ニ雉ノ羽片ハシム  
シリ扱一子ニキチニツカ三羽入一ツニトリ扱一ト云里ニ盛ナリ

沓卷ハ赤クスルアサ卷ト云テ扱上ツ卷ヌルテ神頭ノ木ハ扱  
木ヌハツハキ本式ナリ今ハホウノ木ヲ用ユ略ヌナリ  三ツ巻  
其上タメタリナリ的矢ハ略ヌナリ

一賭弓篋子之事 コウハイハシモミチ  
ト云名アリ

行勝之事 鹿ノ頭シクシカシ 尾シレハケ

是ハ矢タテ拍子ノ行勝ト云常ノ行勝ハ尾ノ所ヲモキラス  
神事ニ用ルハ尾ノ所ヲステカテ切是尾邊ハ不定有カ故  
ニカズツ切ステル他流ニテハ矢タテ拍子ノ行勝ト云是ヲ知  
カル時ハ神事ニ用テナリ

一ユカケノ事 天子將軍ハ錦皮御免皮ノ事ナリ又ハ紫皮  
ノ事ハ以下ハフスハ皮ヲ用ヒウハ一ハ裏ヲツケル紐ノ長不定  
ハハ三分紐ノ先ハ一文字ナリ貝息ノ下ハケニ先ナリ流鑄  
馬ハ手袋ト云ナリ右ノ大指ニ皮ヲニテヒ内ノカタニ是矢ツカヒ



ノ為ル古法ハ紫ハ平ナル用

一策之事

ろ太郎弓次郎ハ蓬策ナリ能柳

射子ハ竹ノ根ノ策ナリ節ハ定ナレ長二尺八寸今ノ策ハ三尺六

七寸ナリ古法ハ三尺六寸ナリ長策ハ下手射子ノ弓時策

馬ノ頭ヲ越サヌ為ナリ取柄ハ六寸黒皮ニテ巻ナリウ又ヌ

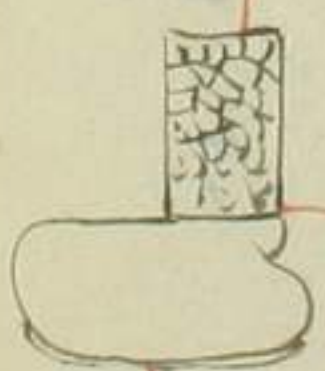
キハ取柄ノ上ノハハノ寸法ニアケルナリ策ハウテニツキテウコ

カサル様ニスル又中指シケン先ノイノ目ノ入ルナリ

一靴ハ皮又ハ能ノ皮ナリ又タナレ又存ヤフハ器ニ記ス

毛を花切り  
の太物と云

其アアンヘラノ  
加リクニナカレ



其五キヤレ  
其処サナリ

一鞞ハ黒ヌリノ鞞シキハシノ鞞ト云

切付ハ牛膝クツクシクニタル本式ナリ皮切付ハ略義ナリ又皮ナル時

ハ白皮ナリ鍔ハ五六表里内朱鍔ナリ

厚  
誤

原總ノ鞞青色カラヤヤ色ホツタイノ人ノ馬具ナリ紫ハ不用古

代ハホツタイニテ騎時連人多クアル古ナリ

一日記水引五筋ニテユヒ申候トシメヨリ手一束シキテ御流鏑馬日記ト記

丁番流鏑ナリ又次ハ五番ナリ夫ヨリ二番三番四番

又近代ハ替古ナトノ時ノ日記上書ハ騎射扱物射テト書流鏑

馬ハ神夏ニ用ル故ニ常ノ替古ニ名改



右法ハ中ハ黒ホレナリ迄代ハ中白ホレナリ

流鎬馬手番之日記

一 只今ニテハ扶物騎射ノ手ト書テ日記トハ不書ナリ其外ニ明和元年十二月四日トニ行ニ書夏ナリ今ハ<sup>アキ</sup>当ニ星ヲ白クハツレニ星ヲ黒クスルナリ

一 射手ノ數十ニ騎ニ極ナリ昔ハ弓司ニ騎ナリ弓太郎弓次郎ナリ其ニ騎ハ不射ナリ諸事指番ノ役人ナリ十騎ニテ的ニ射ル<sup>ル</sup>ナリ

有徳院様御代ヨリ二十五騎ニテリタルナリ

一 射手<sup>中</sup>一揚ノ鎬ヨウ柳ノ鎬トテ拵様ニテラヒ有具

鎬ハ願書ヲキテ其上ヨリニテ結フナリ本ハキノ下ハキツ

ケテ其ヨリニテ結フナリ扱神前ハ納ルナリ

一 弓司時ハ胸衣トハ時節ノ服ノ事ナリ扱胸衣トハ袖ナキモノ

ナリ神ノツケ子ハ五段ク<sup>リ</sup>ナリカ又ハ金サ、ヘリシ取扱前ニテ

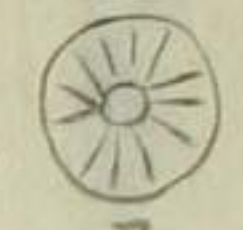
キタン九亦カケル<sup>ク</sup>ハ外ニ有クツノツ、ハクツ袴ノ内ニ


有行膝ハ厄ヨリハキ丸カハ<sup>レ</sup>ヒホノ上ハ右カハアタル右ツト

リ<sup>テ</sup>後ニテシメル<sup>レ</sup>赤ヒホノトメ様番有<sup>ル</sup>小テモセノ

内ノ通ニテトムル



一流鎧馬ニハアヤイ笠古法ナリホ子シハトニテスル事ハ輪シ  
 テ扱九ホトホ子有表モキニヤ裏ハ紅ノシヤナリ上ニ兼房有  
 紫皮  又 有徳院様御代ヨリ夾タ<sup>ラ</sup>ニアシロニクシタ  
 ハン上ニ一ツ左右ニニウ有女クハシニホヲ通シ上ノクハシニカケ  
 テシメルナリ古シハ婚礼ナソニモ<sup>カ</sup>笠ヲ用タルナリ<sup>カ</sup>襦衣ノ  
 上ニ折カケシ用ト有胸衣ノコトク上カサ子トテシヤウソクノ  
 内上有  
 小松摺ト金銀ニテスリハクニメカリ衣ノ如クナル物一スリ込タ  
 ル<sup>ル</sup>

一アイトリハ十三四五エノ人ナリハクワケニニ浮ケシヤウシテ五  
 イシ振時ハ末廣ハユシハサズ夏ナリハイ立ヨリハイシトリ  
 三度イタキキ扱勝タル人ハ一イヲ振女ナリ振ハマニフリ出  
 ス扱ハイハ壹尺ニ寸紙ヲ五分ツハ切ニ寸ノコシ夫ツホハニ  
 キツケテ振テリ  
 一矢取小スシフトハ半ハハノスホフナリ小袴ハ常ノ半袴ナリ  
 鬘シ結下ルハハナヤセン鬘シ下ノカタハシリテ置フナリ  
 扱<sup>ハ</sup>ハシ切タスキカケトハスフノ袖ヨリニホウ入テウシ  
 ロハ両方ヨリトリテカタノ上ニテムスフナリ扱脚半ツカケル



一カヒ添い本式に二人ナリハリカノ弓一人太カシ持故し高田馬  
場ニテハ御太刀の上ヨリ御カレ候故ニハリカノ弓ハカノし夫故一人

出馬ノ次第

一先一番ニ執筆ニ番再拜ノ役的立ノ役出ル役人トハ矢  
取ノ一ナリ古代ハ主殿ノ御出ノ前ニ出テ今ハ 御成ノ  
前ニ皆出揃ナリ其書ハ古代ノ式ナリ射手モ今ハ幕カ  
コヒノ内ニテ将衣束イタレ馬ニ乗テ出ルナリ左ノ司右  
ノ司前後ニ行ニ射手ウリ列出ルニ司ハ騎射スル  
ニ不有アリハイカル一ナリ乗込所ハ胴本ナリ左一三五

七九右ノ司<sup>弓司</sup>ニ四六八十立揃下馬スル一ナリ下馬ス時  
ハ馬ノ右ノ方ニ立ナリ右ノカタハ主殿ノ馬ノ後ニナル一  
ナリ唯今ハ下馬ナシニ番ヨリ殿ノ乗出スナリ右杖シウ  
キヲトハ右ノ手ニラウ持花手ニ行勝ノ芝キシトリ  
鎧ウズキニテラウ一ウシ杖ニシテラノカニテノル一  
乗ルト共一、弓ノモトハツツ馬ノ両耳ノ間ハ目ノエニ  
上ウラハツツハ我頭ノヒニナル様ニシテ切花ノ手ヲ出シテ  
弓ノ能ズトル一ナリ其後両耳ノ間ハウラハツツナ  
シテ持テリ



馬場之次序

一左右ノ弓司ニ行乗通ス又間ニ杖又ニ杖ナリ弓司ハ俗ニ言世話  
人ナリ大進物ニテハ極見ノ役ナリ  
三ノ礼ト言夏有

一左右ノ弓司

射儀之事

一先桐木ノ津（ヤノミ）へ乗矢カミニスルナリ神道シソラニ向ルハ窓敷  
ナリ矢ツカイノサ巾ノヲナリニ番ノ的迄ハ弓カヘリ垂レシノ  
的ノ時ニ弓カヘリ有弓ハ弦シ右ノカタニアタル様ニスルヲ也

一弓ノ手綱ヨリハストリテ又後右シ取ルヲナリ弓カヘリナ

キハ弓シカトス（カ）レキ鳥ナリ其上矢ツカヒ早シ矢シウカフ

一フシ解拜法式ト言クメイハイト云々言タツハイト云

一ニ番ノ射手乗通シタラニ初ノ加ク厄一キテ馬シニ立ニ

番ハ右一立ニ番ハ一ノ跡シノリマハレ厄一立ル

一射手皆馬シ

一三返射ル是ハ拾騎流鎬馬ナリ故ニ初合ニ十度ナリ今

ハ二十五騎流鎬馬ナルカ故ニ二度ツマナリ

退場ノ次序



一役人トハ矢トリノ事ナリヲ一ハイリサル時ハ昔ハハツレニシ  
タルトナリ馬モ能翔サル時ハハツレトスルニ能ハレテ能翔  
タルヲアタリトスルナリ

一馬場中ノ道傍アルトハサカイノ夏ナリ

一萬矢ノ次弟本文ノ通り

一録シ給ル事 御前ニ上ラ弦ヲ向ヘナシテ両手ニテ及載  
スル夏シ夏代ハ弦ヲ太刀ツカニカケテウラハツツツカノキ  
ワ迄ツレ込及載シテ初立時ニウラ出シテ花ニモウテ席  
ルナリ

笠掛之書

盃觔ハナカソ子彦悪魔シタイニタルヨリ初ルト神武池  
ニ在馬上ニテアリ射ル夏ハ天武天皇ノ時代ニ馬上ニテ  
ヲ射サレメタマフト有事初騎射ト書テ馬ヲトヨムナリ  
ト昔ヨリ其ヲ申傳ヘシナリ


又一説ニ笠掛ノ初マリハ上野国新田ノ庄ニテ初ラレタルト  
モ有又ユヒカ濱ニテ流鑄馬被仰付候節射手ノ笠立ヲ  
凡ニトラレタルヨリシテ其笠イヨト仰アリ是ヲイテヨリ登  
レリ武田太師信光ハ笠原次郎長清下河邊庄司行平



三人ニテ笠掛シ定ム夫故ニアヤ井笠立フ的ニシテ是ヲ射ル  
其節ハ馬場ナキカ故ニ廣野ニテ是ヲ射交ナリ行平  
馳通リタル跡シワクリト定テ其後笠掛ヲ馳タルコト  
今ニ新田ニハ此ノ京野ト云所有夫ヨリ年々ユヒノ廣ニテ  
笠掛有ルコトナリ其後時草的等出タリ

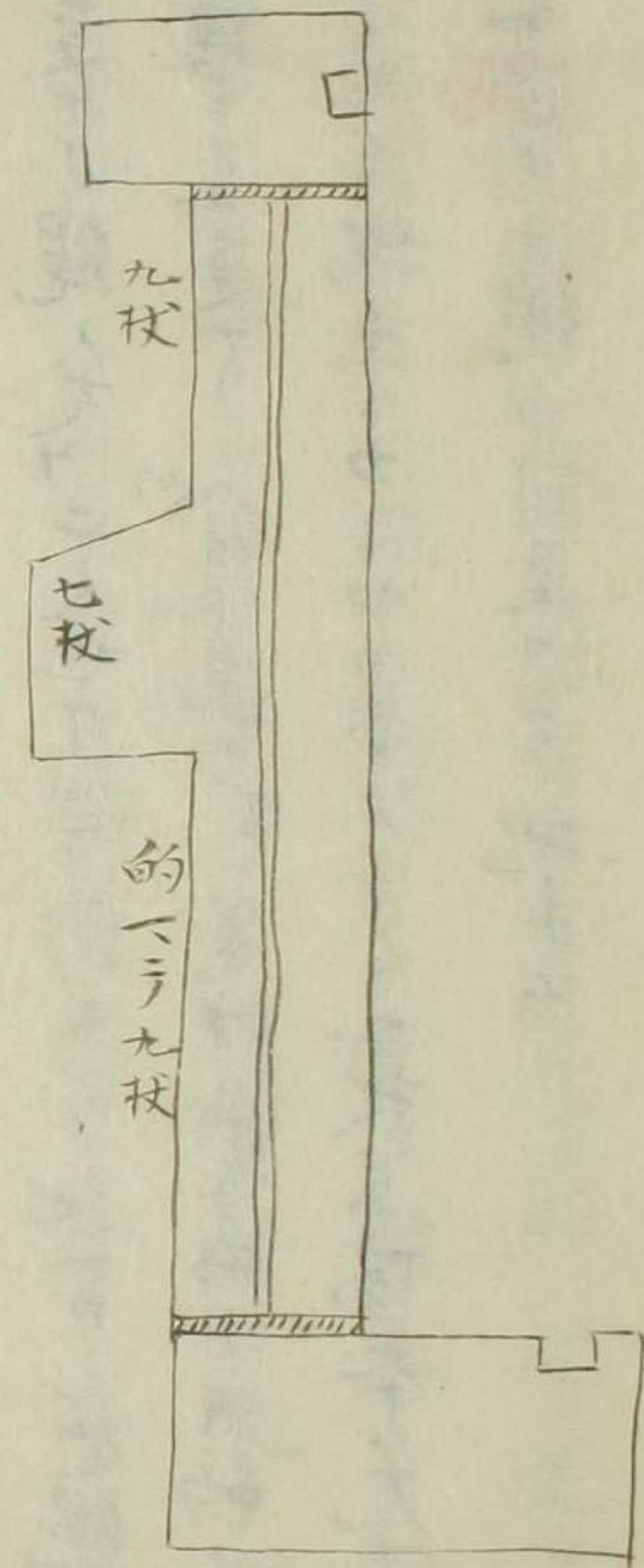
又世説曰

一笠掛馬場來曆ノ交九枚ヲキ的ヲ掛ル扇子形スルコト  
アセリニソト云同馬場ノ法量ノ交昔ハ的ニ穴ニ掛テ馬  
場七十五枚的ニ時ハ二十八枚是ツアのトス又アのヨリ

二十八枚ニテア通ニ二フ的シ立是昔ノコトナリ今ハ的一  
ヶ穴ニ掛ルナリ馬場ノ長四十枚又ハ五十枚ナリ的ノ後串  
又通四十五枚モ同然し四十枚ハ二十八枚的シカクルコト  
ニ折<sup>左</sup>右ニ高一尺七寸土开シフケ其上ニサマシ付ル土开ノ上ニ  
時シ誥又或古書曰同サクリ漏破止ニ繩シハ其繩シヨセ  
タル交ナリ繩ノ大サニ尺七寸廻リ竹シハ地一カレ込繩ノウコ  
カ又様ニスル交ナリ  是ヲ扇子形ト云的ノコトハ  
右ノコト通馬場末ハカリヤカタノ方ハ九枚馬場本ハ九ナリ馬  
場末<sup>右</sup>ヨナリ繩シハ其方地ト云



一 矢放兵上代ハアツキツツキ矢放兵ニシテ長丈ナリ今ハ的斗ナリ  
 今ハワクリヨリ九枚ニシテ一枚ヨセテ的ヲ立ル今ハ上覧ノ時ハ間  
 ナリ弓ウハハツシヨナリ  
 一 布皮ノ丈是ハ矢止ナリ布シニ日ク際テ的ノウシコト掛テ射ル  
 故ニ的皮ト名付古代ハ度量モナケレバ今ハ大的ニ用ル故ニアル



ナリ長七尺五寸布シ六ノニスルナリアハセメハフセヌヒナリ上下ニ  
 フクロヌヒニシテ其中ニ竹ヲ入布皮ヲ串トテ **ハ** 是ニ結付ルニ  
 ツルニ皮シハ一寸ニ分ニシテニズニツル下シハ竹ヲハリテ上ヨ  
 リサシ止真中ナリカサ本ニ結付ナリ串ノ高七尺五寸ニ合テ  
 スルナリ

一 的ノ丈一尺八寸 的勢一尺八寸

ツキノ木ニテスル太鼓ノ如ク皮ヲ表裏シハル只合セ  
 目ハ鞠ノ如ク皮ニテスルニズニ乳ヲ付ル 胴ハタメヌリ

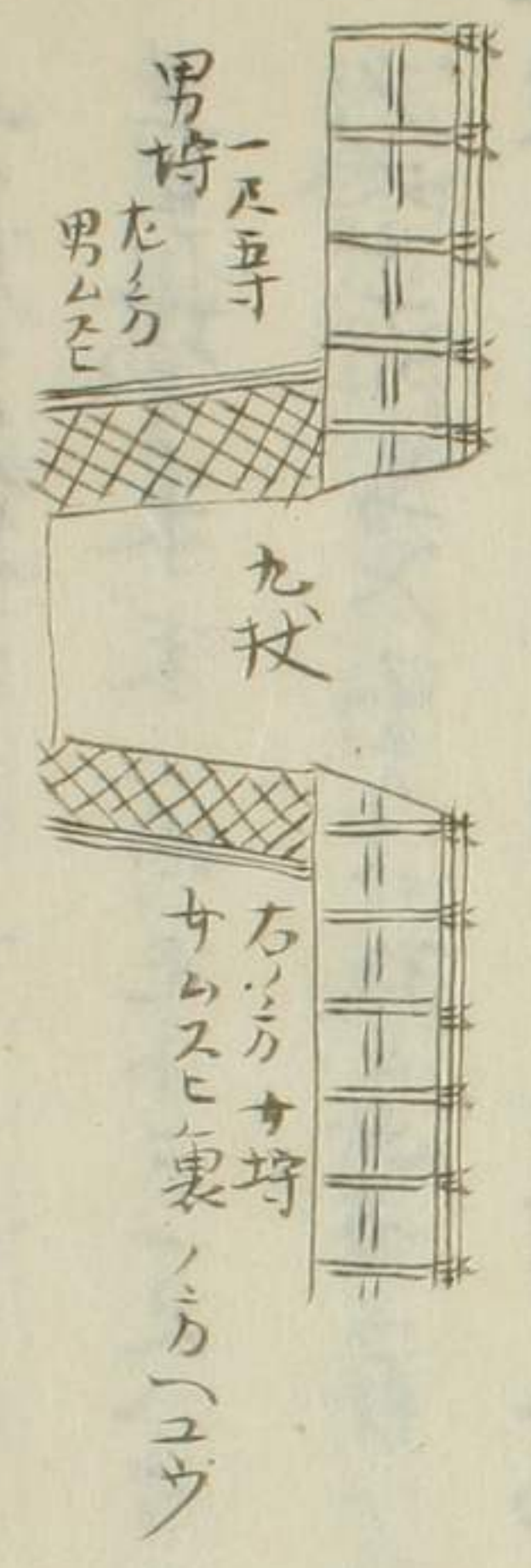
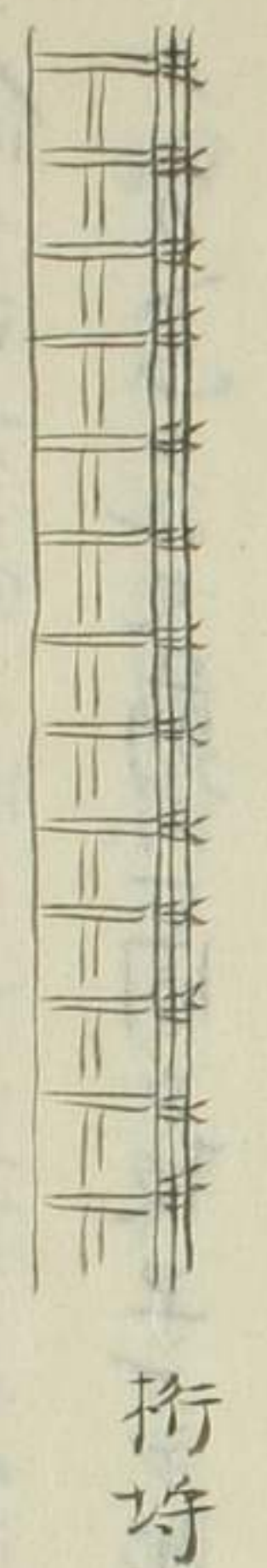
ニスルナリ



一同カウ甲ノ夏  
 是頼朝公ノ頃ナリ又横串六尺一寸計内ナリ五尺三寸一  
 加杖ニモスル夏ナリ


一塔ノ夏折塔サレ塔モニ有折塔ハ高本文ノ通九本ノ一間ハ  
 ニ立ル初ハ角木ナリ横フチハ二通りヤウ  
 萩ノ折トナトリ添テ一間ノ内六尺五寸回りニツカ子タテ  
 ニ立テ横フチニユヒ付レナリ一間ノ内六尺結一尺合シキナリ  
 ヲヒメハサクリノニカヘ向テユウニ笠木ノコハ  
 レラノ太サニツ、ス針ニテ立木ニサ付具上シ里モレト松トニ

テクルし三尺シキニユヒワケルナリユウ目ハ馬場ノ方ヘユウ  
 矢放悉九杖アケテラクナリ



馬末馬元共ニ次多ニ高ク塔ヲニウナリ  
 又サレ塔トフトワ三寸四方ノ檜木ヲマナカ夏ニ立テ只間ヲ三寸



四方ノ木シ間三寸五たふヲキニシクト立立盤本ハアツサニ寸  
三分針ニテ折付中ニ横又キシ一通リ過ス  略義ハ  
立ハシラハ何木ニテモマナカ毎ニ立テアリ只間三ハ七八寸回ノ木ヲ  
立馬場ノ本末ノ時モトニ一尺八寸ノ木ヨリナソハニ次高  
クスルナリ馬入ノ方ハ板ニテカコフ

一假屋形ノ事ニ間ハリニ長ハ見物ノ多クニヨルナリ馬場元  
ノ方ハツクルノ前ニ間ノ板又シ出スコウラニヲ折ナリ時  
下ノ床ノ高五尺アリ上リ口ハコハシコヲ付ルニ立ナリ馬場  
末ノ口ハ貴人ノ上リ口ナリ馬場元ハ役人ノ上リ口ナリカサリヒ

キ目掛ハ埒ノ外的ノ右ノ方ニ射手ノ人数程ツクルナリ貴  
人ノヒキ目掛的ノ丸ノ方ニツクル古代將軍家ノ被成候節  
的ノ丸ニヒキ目掛シカサメリヒキ目掛ハ高六尺横六尺五  
寸カサ木ノ両方ハアミル五寸五たツ横又キハ地ノ上ニ七寸  
フトサハ三寸三分ハ本ハ檜ノ木ナリ丸木ノ時ハ六寸五た回是射手一人ヒ  
キ目掛ナリ

又古代ハ矢放所ノ右ノ方ニム子ツツケタリ 女埒ノ通是ハ女埒ノ  
方ナリム子ヲ女埒ノナリニ三間四方ニ折ナリ貴人ノ御覽所ナリ





一 射手雜処屋ノ夏是モ假屋形ノナシニ屋子ヲ建ル馬ツナキ穴ハ  
馬入ノ口ノ方ニツクル是ハ繪巻ニ有之

道具調法ノ事

一 弓ノ事ニ ホトノ弓ナリ白木ニ三穴ト巻トリ裏ハス元ハツハ短  
邊ニ巻レナリニキリヲモ 是ニ ホトナリ白法シ掛ルナリ  
ツリハ随分高クスレテ矢ノカマリ音キ為ナリ又フキヨセト七五  
ニニ巻タル弓シ云ナリ或村コキノ弓トハコキノ弓ニ傳ナリ  
ウロコ形ノ弓ソバシロソバシロノ弓又ハレケ道 上ニナリ 巻タル  
ヲニ又ヌリ弓ニヌリ弦シ掛ルナリ本法ナリ白木ニハ白法ナリ

又騎射イナラヒニ弱弓コレハリ替弓共ニ長袋ニ入テ持  
セルナリ袋ハ本式有追テ番渡スヘシ

一 笠掛暮目ヒキ目ハ白ノニスル又ウラレノニモスルナリハツハツキハス  
角シユ 節ハハツ共ニ五節羽ハ判リフ。之ハ白中里等是ハ平士ハ四  
節 シユ 又クハ夕カノ羽シモ不用外ノ ヤノコ 羽シ用ルナリ糸ハ  
ツルノ羽コウノ羽シ用ルテセハキスル時ハ中里ニテモキリフニテ  
モハレリ羽一枚ツカフ又風切外リ云ニハ夕カノ羽 内ノ方ノ羽シ云  
ノ ツルノ元白小人若草ニハレノ白尾シ物スキニ染テ用ル又  
コウノサキノ羽シ染テ用笠掛ノハ羽中ノ節ヲ第一ト



ル羽々ケシ四寸二分ニシテ色糸ハキシテウルレハキモスル羽  
表ツツトノ方ニシテ

上代ハ羽ノ幅狭中古ヨリ羽ノ幅廣クスルナリ舊目大ナ  
ル故ニ羽ノ幅廣シ惣テヒキ目ノ矢ツカハキニメヒキメノ  
木ヲハツトウ桐ニスル形丸シ是モ矢ノ書ニ有卷目三ツト  
目ニ方ニアケル古代ハ大ノ舊目九寸中七寸小五寸今ハ四寸  
ニ三分大兵強リ七寸五分ノ舊目又小<sup>用</sup>兵弱リハ三寸  
シ用卷目ハ上裡持スカサリ舊目ニ五カケルコレサレニニ  
残四寸ハカヒ矢ニナルナリ

一弓篋手ノ事古代ハ皮ニテ製タルナリ中古ヨリ色ハノ  
切レテスル本式ハセイコウナリ又好次多ナリ古代高  
位ノ人ノ弓篋手ハキウ<sup>シラシ</sup>紋<sup>シラシ</sup>紋<sup>シラシ</sup>錦ハ五色ノ  
糸ニテ紋カラヲシヲ入タルヲ云成ハセイコウハモ五色糸ヲ  
シラシ云云<sup>シラシ</sup>紋<sup>シラシ</sup>錦ハ三色ノ糸ニテモシカラヲシヲ入タ  
ルヲ云

一行膝ノ事行膝ハ鹿ノ皮ヌ毛本式ナリ若年ノ人ハヌ  
毛ノ秋毛ハカリタルヲ用ユ中年以上ハ秋毛ノ黒皮ヲ用  
又ハ行膝ハヌ毛秋毛ヲ用セルナリ其時ハヌ毛ヲ左

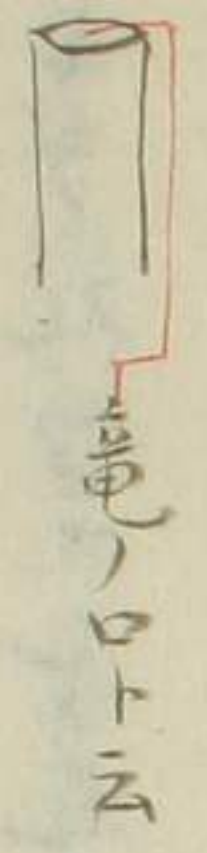


秋毛ヲ右ニスルナリ或豹尾ノ皮ヲモ用是ハ人ニヨルナリ又  
ヌリ行膝有ナメシ皮ヲスルニ又シヤウフ皮ニテモスルナリ貴  
人ノ行膝ハ紫皮ニ裏ニアヤキンユウニ錦ハトニスシツ  
ケル平人ハカタ色或ハ茶丸ニ又熊毛ノ<sup>行</sup>膝モスルナリ  
是ハ彈正女ナラテハハク事ナラス古代ハ彈正ハ西国ノ名  
タイナリ

一鞞ノ事ノ天子將軍ノ鞞ハ錦皮紫皮ナリ女以下ハス  
一皮ナリ古代ハ紫シハ脚酌スルヲ<sup>テ</sup>ノニキリニモ紫シハ  
不用ナリ裏ノワハハ高位ノ人ハ錦キ<sup>テ</sup>ラトニスナリ女以

下ハカタモ茶丸ナリ諸ノ長不定ト云凡ウテ三重廻リトシ  
ホウムスヒニスル程ナリシノ幅ハ三分


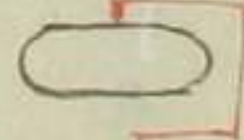
一鞭ノ事 竹ノ根ノ策節數不定申數ナリ先ノ節ニノ向ヨ  
リ切<sup>ハ</sup>大<sup>ハ</sup>寸ニス今騎射策ハ三ハ六寸是馬ノ首ヲコサセ<sup>テ</sup>シ  
キ為ナリウテ母<sup>ハ</sup>六寸騎射ニウテハワマルヲヨレトスルナリ



毫ノ口ト云

一靴ノ事大クツト云ハツツケルワハフケカワ<sup>ハ</sup>ノ皮ハキ  
又ア<sup>ン</sup>ヘラノ類ナリワハノツケメ<sup>ハ</sup>チヤハラフセナリ皆ノ裏ハ  
ナメシ皮ナリコウノ<sup>ハ</sup>能<sup>ハ</sup>ノ皮ニテモウチハナメシ皮ナリ其<sup>ハ</sup>



裏ノトケツケハチヤハラフセナリ是ヲ花ムシロノ大クツト  
 云又ハ皮ニテ筒ナレニモクツハコシラレナリ花ムシロノ沓ハホタ  
 ニカケナリ筒ナレノ沓ハホタンナレナリ古代落馬ノ時沓ヲ又  
 キテ礼シナレタル有  裏ハクスス一皮ナリ  ホタニナレ  
 一鞞掛具里ヌリノ鞞ツキリンノクラト云切付ハフチカワラ  
 ニテ組テ白キカ本式ナリ皮切付ハ略義アリ是モ白皮本式ニ  
 鑑ハ内朱ニ里キハ法飾又輝正ヲ用押カケハ青唐茶ハ  
 ナウレノ押カケナリ其外ノ用毎次スル  
 一日記付様ノ事ハ大ノ時ト大追物ノ事ナリ鳥ノ子ノ紙ナリ

一本文ノ如ク十二騎本式ナリ大ニテハ七騎掛具ハモテテ  
 一初十度射ナリ是ヲ十度ノ笠掛ト云十番ノ笠掛ト  
 一初十度ハ不言事ニ十度ノ笠カケ百足ノ大追物ト云古代ノ  
 一射手ノ高下ノ事ハ一番ノ射手賞最ナリ又十二番賞最ナ  
 リ其次ニ三四番五番六七八番十一番ノ射手ハ初心ノ射手ニ  
 ○○○○○○○○○○笠掛ハハウレノ星ヲ里  
 クスル本式ナリ流鏑馬ハ星<sup>ハシ</sup>ノ中ノ星ヲ里クスルヲ古実ナリ然  
 共今ノ中ハ星ヲ白クス



一 百番ノ笠掛ノ白記百番ハ十番笠カケツ云十ハ射ルナリ一  
人前ニハ一十面<sup>テ</sup>又馬モ百番射ルハ一ニ足ナソニハ馬ワカレ  
テ不成候

一 七夕笠掛トハイウニテモ七日ウケテ馬場シカテ射ルコト一日  
ニ度射ル日記シ七枚<sup>メ</sup>ニ書ス一イワレノ馬場笠カケ射  
手トナリ一日ニ七度射ルコト有又一日ニ十度射ルコト有十度ハ  
矢十本ナリ

射手並役人出立

一 射手ノ数ノ夏十二騎本式ナリ或十騎六騎又十六騎ニテモス

一 射手ノ右合次第ナリ一番ニ出ルト押ハニ出ル功者ヲ云ラ  
ム又イワレモ同様ノ節ハ圍ニテスル夏ナリ行列立ニテハ二行ニ  
ニ騎ツ、行事シ又曰上代ハ人ツ、二日傘ヲモタスルコトニ  
只傘ヲシヒロケテ只陰ニテ装束シタルコトナリ文永二年極  
樂寺ニテ笠掛有志永年中ヨリ雜所屋ヲ建テ体足  
スルコト又シタクスルコトナリ

一 射手相模三郎——太郎殿トハ將軍ノ御子方シ云其文  
ハ東鑑ニ有コト致證抄トシテ其後ニ記ス

一 射手装束ノ夏其装束ニニ品有上代ハ時ノ內衣シ着胴



衣シ着クツ袴着諸ユカケサレ沓行膝ヲハキアヤ笠  
シカフル中代ヨリ時ノ內衣シ着テスホフシク、リ袴片ユマ  
手ヲサス烏帽子、シカフル沓行膝シハクユカケシサシテ緒  
シトメルナリ法解ノ人ハ烏帽子ハナラサル故ユレヒシカフル  
又センハツ有者ハ小ユヒノエホレシカフル小カヲサスナリ其拵  
様ハ常解ニテ中身ハ末ノ身ナリ是<sup>貴人</sup>ノ御前シ憚リ  
又落馬シモ考ナリ本身ノ時ハ皮ニテサヤ止シスル

一 靴ノ出立本文ノ如シ

一 糸<sup>評</sup>ノ後、追物笠掛流鑷馬ホニ有若年ノ役ナリ化粧

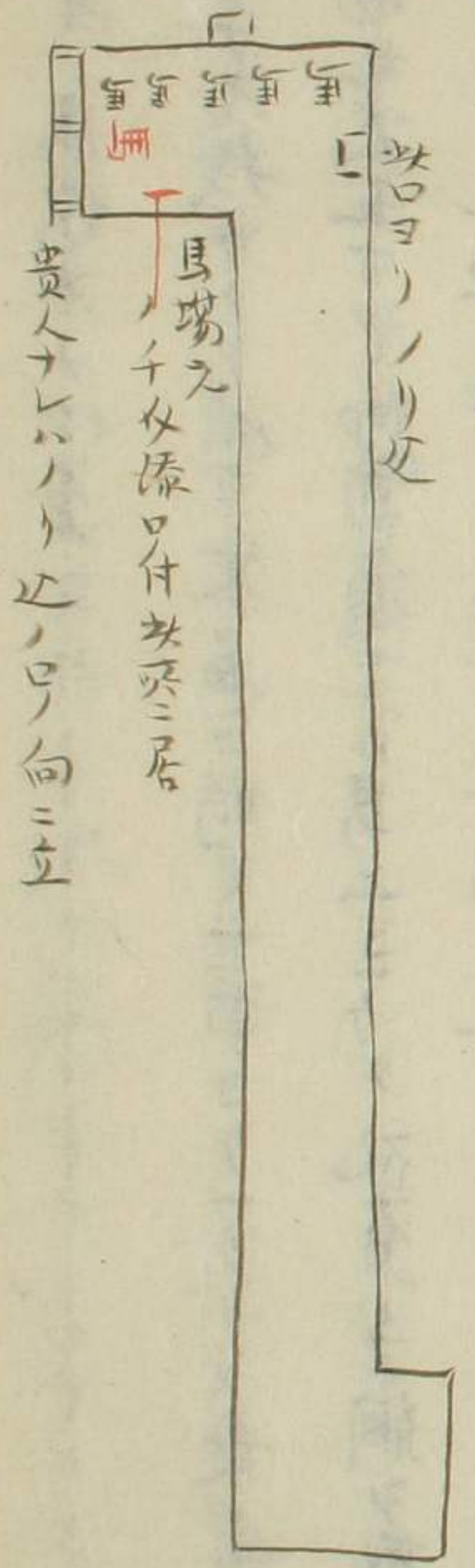
シテカ子付へ、シツケスヒカシ末廣ヲ持出ルヤイハイル時ハ  
へヒタテニサイハイシ立置ナリ扱アタル夫ノ時サイハイ取テ  
頭ノカタヲ左ニシテ下ノカタヲ右ノ手ニテ取テニ度又イ  
タ、キ夫ヨリ取直シテ右ノ手ニ上左ハ下ニシテ右ノカタ先  
ヨリ向ノカタへニ度フリイタスコナリ

一 矢取出立本文ノ如シタスキカケトハスホフノ袖ノウチヨ  
リトリテ背中ニテイハイルテリタスキノ様ナリ前  
トハ一番ヨリ六番ニテ六騎ナリ矢取四人ナリ<sup>ハ</sup>時ハ  
其間三尺ニ寸ツ、ナリ前射ヲハルトウシロ的ノ者射セ



番ヨリ十二番迄ウレロ的ノ矢取イリカリ又曰  
 公方様被延候節ノ矢取ハ的ノ前串ノ通ヨリニ杖馬場  
 元ノカタヘ空可テレキ皮シスキテ告平人ノ矢取トマレウス  
 居ル支ナリ  
 同矢取様ノ支本文ノコトレカイ添ハ射手ノ親類ヲ用是  
 ハ御前へ出ル故ナリ二人ノ時ハ射手ノカラモツ一人ノ時ハカ  
 ハサツ吹屋へ置シカイ添ハ右ニ立口付ハ左ニ立右ノ手ニテ  
 馬ノ口ヲ取ナリ  
 出場の次第一番執筆ニ番サイハイノ役馬入ノ口ヨリ入アセリ

シツへ出立中ノサクリノ内ツ一行ニツクナリ馬末ノカタへ通机  
 筆サイハイノ役ハカリ~~セ~~ノ前ノ右ノ方ヨリ上ルニ番ニ十二騎  
 ノ射手馬場元ノ口ヨリノリ込サクリシテ手ナシテ十二騎一  
 騎モ乗込十二騎揃タル時ヲフワキ下馬ス行儀ホク  
 ニテ上ル事モ有九ニテ矢右ニ策シモチ立居笠掛初ヨト  
 有時ハ策シ先ノ方シ向ヘナシテ中コシヨリス、こテ御礼シスル





馬場ノ次第

一射子不残ワクリ道ヲ乗通ニ騎モ一番ヨリワクリシ乗通ス  
又同七八五オツ御前通ニ馬上ニケノ礼有テ綱ヲ取ナシ  
シ鐘ヲハスシ樽ヲ前ヘカハル是ニテノ礼ナリ乗通シ左ヘ向馬  
ヲ立揃馬場元ヘ行一杖申アゲテ一番左夫ヨリ煩ハシ立アリ  
馬場元ヲ馬手ノ方ト云

前的小妻手ノ方ト云ノ為ニ前的小妻御覽所ノ前シ云

笠掛射様ノ事

一射子皆馬場末ノアセリニ一ツ一ツ馬末ノ横ニ廻ル所アセ

リト云一番ノ乗人ノリ出レワクリニ向馬ヲ立テ綱ヲ右ノ手  
ニ取テ矢ヲサレハキ手綱ノカキモ我乳ノ通りニ持シテカキモ悪  
シク長ク前ヘ出モ悪シ弦ノ間我乳子ヨリ一寸ワルツハナスル  
ツキルモハエホレノ高ニ上ルナリ目ヲ臨テ馬ノ頭トノ間ニ  
上ルナリ

初馬手ノ耳ヲ越カズ越ニトワクリニ向右ノカタヲ見セテ早速ハ  
カレ乗出スアナリ初見込セテミアシカセ矢分右ツワカヒ的  
ヨリ一寸杖ヲ前ニテラシヒラキ耳ヲナテル程ニヒラキ又目  
ヲ馬ノ耳ノキハヘコレ只時手廻ラ放レテシラヒロケテスホフノ



袖ヲ石手ニテ内ヨリ外ニテ矢ヲ諸打上ニ上ルナリ流鏑馬  
ハ塩手ヲカキミレテアコリ高くハ上スナリ  
的ヲ行過テ矢ヲハナスシレモレリノ心ナリ  
鏑ハ的ノ方ニカレヒラク心ナリ外ニエヌニ不ムナリ矢ヲハナシ  
テハ鏑ヲ不スナリ我トアタリト板馬繩ノ所四寸ニ立ナリ

又或書ニ笠掛ニ拍子有ト云夏ニ本文之通  
引目尻トハツカヒテエル事尤一廻スコソクルリト通スト云ニツ  
身ヲ越る越トハサクリ先ヨリ馬場ニ向タル時ノコナリヒナツツ  
クリ入テトハヒナシヒラキタルコナリニ足カ、セトハ足ニ足ニ



ニ度出スフニホクトトハコシイフニヒラクコトハ鬃中ニ  
押入ルトコソシ小松原ノ鏑ノ中ニ入ルコナリ在裡ニキレトハ  
イツハイニキ上リ込夏ナリ初矢ヲ放シヌラハコノ先ヲカレ前  
ノカタヘフセル心持ナリ其時ヒラキタル鏑ヲフセルナリ手廻  
取テ馬ヲトメル夏ナリ是ツニ拍子ト云又小的トハ一尺三寸  
ノ的ナリ是ハ引目ニシハ不射神道ニテ射  
退馬ノ次ヲ改本文ノ通前通ノ礼トハ馬ヨリ下  
リテ御前ニテ礼ヲスルコナリ  
一初心ノ時ハ素走トテコト持不射シテカキ通スナリ馬ニ



アライラ射ル事右代ヨリ有リナリ東鑑ニスハノモリスル  
云クルト有長馬トテ三度スハセシシタルナリ

一圍笠掛ノ夏是ハカケシテ射ルナリ矢代シフル圍ノ後  
矢代ノ役出錢ノ役人右役人ノ居共ハ的ノ前ノ通三列坐  
スルナリ矢代シフルカリ屋形ノ左ノハシリヨリ段々馬場  
末ノ方ハサクリキハヨリ一尺五寸ノキテフル假屋形ノ方ハ  
向テ合スル夫ヨリ馬場先ノ方ハ向馬場末ノカタハ後ヒサリ  
ニフル矢代ノ出タル頃ニナリ出ス夏ナリ  
圍シハ馬場先ノアセリニテ馬シ立揃タル時ニ役人圍筒

シ持出乗人ニ取スルナリ各馬上ニテ圍シ取ル圍ノ文ハ見えニ  
エホシノ右ノ方ノカケシニ指ナリ圍ハ右ノ手ニテ取トルカケ錢  
ハ數ハ只時ノ定次第ノ圍ハ一度取テ毎度圍シ合テ一  
ハニ勝負シスルナリ一ニ本ニシニ本トニ本ツ、スルナリ  
或ハ月下花シモスルハ或ハ松竹梅モスル世人ノ思付次第ナリ  
十騎ノ時ハ五ツイナリ圍ノ法毎シ長七寸位

中連ノ夏

的ニ中連氏ニ大追物同前ナリ矢サワク有ハ快スル西品有  
矢シサハクモ射テ内印者アル者ヲ兼ルテ定ルナリ又印者ノ



射テ大進物極見ニ準ス的ノ前串ノ通りイワニセク7アリ

矢ヲカヅク次多能中テ落タル矢



矢ハ能テ感テ後ニ行タル  
矢ハ能テ感テ後ニ行タル

又横繩ヨリ前ニタラレタルハ中ナリ小繩ニカ、リテモ中ナリ

一寸ヨカリタルハ能ニナル手前ニ落タルハ中ナリ又的ノ上角ニ

中横繩ヲシテワカサル先ニ繩ニカ、レハ中トナル又横繩ニカ、

ラスニ向ニ落ハ能ニテ的ニ中テ引目ヌケルカ又クタケルカ或ハ

矢カ折ルカ是モ一方ハ的ノ前ニトナル又一方ハ的ノ布皮カ或

ハ横串ニ中テモ能ニスルナリタトハ一方ハ能レテ的ノ後ニ

落トモ外ノ物ニ中ヌ矢ハ中スル或折タル矢ノハワハ的ノ

前ニトナリ引目ノ方ハ的ノ後ノ方ニ落テモ物ニ中ラスニ落

ハ中ニナル引目ノ方ハ的ノ前ニ止リハワハ的ノ後ニ落ハ

能ニテ的ニ能中タル矢ノ横繩ニ中テ切タル矢有是ハ的串

ノ前後ハワキノ通ハレタルハ能ニテ串ヨリ内ニ落ハ中ニ繩ヨ

リ手前ナリ又是スキタルカスキヌカト云時ハ能ハ能ト云的ノ

中タル矢ノ横串ハ引目ノ頭ノ中タルハ能ニテ矢ノ廻リテ前ニ

落モノニ中ラスニ的ヨリ直ニ落タルハ中ニナル又矢ヲ放テ引目

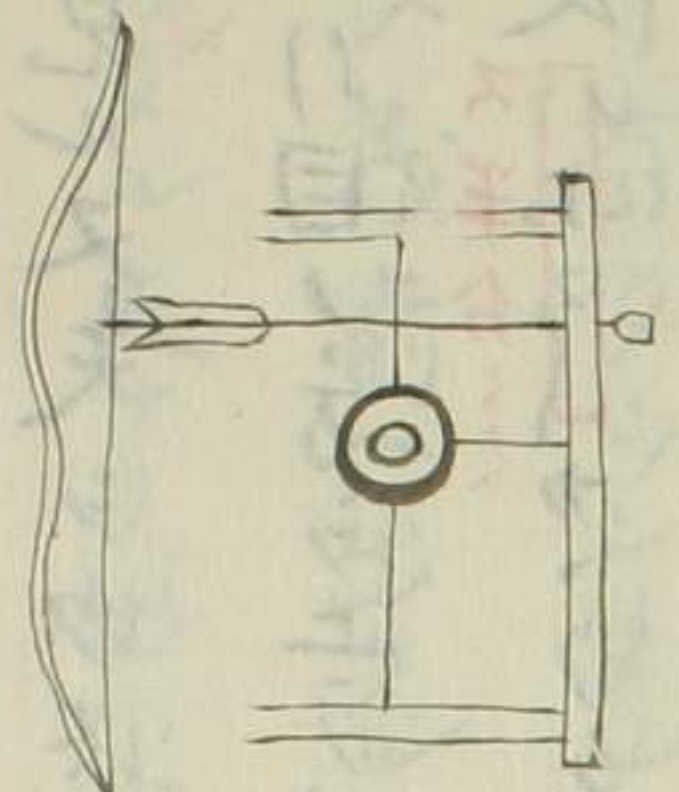
ヌケテ落名時ハ能ニ射テ中タルハ中トス能ニ射タル時ハ能

ニ射ルニイタワケヌケテ中タルモ中頃ス



是ハ矢ヲ以テスルト云事初ハ矢ヲサハクト云射タル矢シヒヤ  
 ウキスルハ矢的串シメクリテ出サルカト云矢ヲ論スルナリ或ハ  
 矢的ニ中タシレテ落時其寸ヲ取是ヲ矢ヲ以テスルト云或  
 的ニ中テ横立ノ繩ニ中テ的串ヨリワキハ切タルカ前後ノ  
 串ノ通ヨリ短ハスキタルカト言時其はスルナリ其次其ハ  
 先下馬シテ者シヌキテノニキリノ上ヲ左ノ手ニ取法シ下ハ  
 シテ矢ヲリトノ上ヲ取のキハ寄存シタル射手ニ各下  
 馬シテ的ニサワラヌ様ニ下ヨリ的手末ハワラシメテ右ノ手  
 ニニキリ下シ持テ的ニサワラヌ様ニ下ヨリ的手内ハ弦ヲ

入前ノ串ト後ノ串トニテ法シアテ、見ルニ矢ハツ弦ニカレ中



又的串ヨリ短ハ切タル矢シハアリ弦シ的串  
 ノ外ヨリタテニ弦ヲ後シ矢ノハツ弦ニカ、  
 レハ中ナリ

スハテ笠掛ノ矢ヲ以テスルハ的串ヨリ前ニ落タル矢ヲ以テ  
 スル串ヨリ後ニ行タルハ以テスルヲナレ其ハ犬追物ノ矢サハキノ  
 以テシ頃シテスルヲナリ又ハ以テスル矢ニ目ノ處シ取テ見  
 レハ的ニ中タル矢ノ的ノ下ニ落タルニフレンシ立テ勝負ノ時  
 ハ矢ノ下リタルカト云人有下カラヌト云人有テ論る時ハ功者



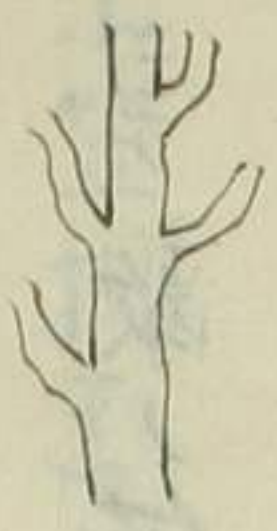
射手下馬シテ諦スル射手モ下馬シテ功者ノ人目ヲ取テ見  
ル目ノ頭ニサカ破付テ有目ノ氣ヲタキテ見ル目  
リ破カセモ出タルハ速ニナルナリ目頭ニ破セツカサレ出  
サル時ハ中ノ大事ノ勝負ノ時ハ諦シテ射手モ折寄下馬  
スルナリ的前串ノ通的ヨリニ杖程間ヲ置テ立テテ  
見ル又矢シ以テセシサハク時ハ目目ヲ矢取ニ取寄テ見ル  
ニ目ノ方ニテ持ト云付目カ的串ヨリ後ニ有沙汰ニ  
及<sup>ス半分</sup>カ<sup>本ノマケル</sup>リタルハ是モサカ破ノツカサル時ハ中ナリツ  
ケハ速ナリ矢モ以テスル言葉ツカハ中ト云カ<sup>リ候</sup>トモ

カ<sup>リ候</sup>トモ申候又ハ惡候能候トモ申候又矢取申合ル  
有タシタル矢カ上ツツ矢カト見ハ的串ノ通りヨリ  
矢取前一出タル矢ハ中ナリ串ヨリ矢モ後ハ空タル矢ハ  
ラタル矢ナリ出ハ中矢カタシレ矢カト見ツケラレサル時ハ矢  
取カ的串ノ前ヨリ取レハ中矢ナリ串ノ後ヨリ取レ速矢  
ナリ矢ノ中速ハ取撮ニ依テ速ニモ中ニモナル然共勝負ノ時  
ハ左撮ノ矢ソユツニ取ラセス傳ニ白以テスル矢ノ弦ノ後ニ  
見ツケガ<sup>キ</sup>程ヲ杖<sup>ニ</sup>アテリ遠ク落タル矢ハ大追物ノ  
矢シ以テスル時ハ的串ノ根ヲ法ヲ横ニシテアテ弦シ



破ニシレアテカラカヒリ法ノ升ノカタニカテテ立ルコウカヒニ本  
コウカヒシ其て文<sup>ヲキテ又テラ立ニテテ文字ニテテ立シ元ハハノ取ニコウカヒリ立</sup>ニテハ  
ナリ相應ノ大事ノ射テ秘事トハ是ホシ云フ  
カル時ハ中ナルカニラカレハ速ナリ是ハ草鹿丸物モ同前  
一 的トサクリト間本文ノ通ナリ

一 神事ノ登掛ニ矢タ、拍子ノ行勝トハスツノカハフコノス  
ル穴ナルカ故ニ其必フニ角ニ切ステル事ナリケカレサル為ニ  
是ヲ矢タ、拍子ノ行勝ト云切<sup>舞</sup>舞シカクルトハキチカシ  
モノルイシカケル<sup>カ</sup>本ハ松梅ノ類ナリ長地ノ上ニ立足ナリ



上ノ下ニ足位入シテ鳥シエノ技ニ掛ルナリカケ様ハ  
首ノ穴ヨリ繩シカケ両羽カヒノ上ニ引出レイホムスヒミレシノ  
其上ニワナッ出シ上ノ技ニシシ鳥シカケ下ノ技ニ是ツフコハラス  
ルナリ下ノ技ハ女鳥ナリカケ様同前又鹿シカケル<sup>フ</sup>アリ其  
時一足ナリ尤技モニ技ナリ  
ワレクニ鳥<sup>ト</sup>祭<sup>シ</sup>ニカケルト有  
射テテノサニミイトハ射テノ心込スニト云古又ナリセ夕<sup>セ</sup>之掛  
ハイウミテモ七日射ル<sup>フ</sup>コオ一イウクノ馬場オニイウク馬  
場トハレツクリニサ<sup>ク</sup>ナリ



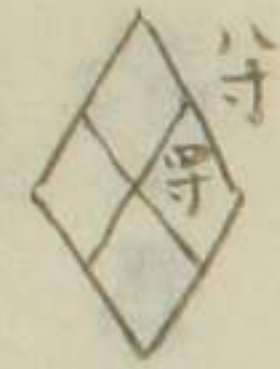
一 緑ヲ浴時服端物或武品<sup>キ</sup>ナソシモ裾下<sup>下</sup>有<sup>有</sup>只時<sup>時</sup>カ  
ケシトリ策矢共ニ御次ニ指置切御前、出ナリ<sup>出</sup>弦<sup>弦</sup>シ  
向<sup>向</sup>シテ<sup>テ</sup>下<sup>下</sup>置<sup>置</sup>目<sup>目</sup>の<sup>の</sup>腰<sup>腰</sup>ニ<sup>ニ</sup>サ<sup>サ</sup>レ<sup>レ</sup>夫<sup>夫</sup>ヨ<sup>ヨ</sup>リ<sup>リ</sup>拜<sup>拜</sup>領<sup>領</sup>モ<sup>モ</sup>ソ<sup>ソ</sup>及<sup>及</sup>戴<sup>戴</sup>  
スルナリ小袖<sup>小袖</sup>アレハスソヘ<sup>ヘ</sup>手<sup>手</sup>入<sup>入</sup>レ<sup>レ</sup>向<sup>向</sup>ヨ<sup>ヨ</sup>リ<sup>リ</sup>右<sup>右</sup>ノ<sup>ノ</sup>カ<sup>カ</sup>タ<sup>タ</sup>へ<sup>へ</sup>袖<sup>袖</sup>ノ<sup>ノ</sup>方<sup>方</sup>シ<sup>シ</sup>キ<sup>キ</sup>  
カケル<sup>カケル</sup>只<sup>只</sup>時<sup>時</sup>花<sup>花</sup>ノ<sup>ノ</sup>手<sup>手</sup>ニ<sup>ニ</sup>テ<sup>テ</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>カ<sup>カ</sup>へ<sup>へ</sup>礼<sup>礼</sup>シ<sup>シ</sup>レ<sup>レ</sup>テ<sup>テ</sup>ラ<sup>ラ</sup>シ<sup>シ</sup>モ<sup>モ</sup>ナ<sup>ナ</sup>帰<sup>帰</sup>ル<sup>ル</sup>ナ<sup>ナ</sup>リ

小笠掛

一 小笠掛ノ初ハ頼朝公ノ時<sup>時</sup>ラ<sup>ラ</sup>馬<sup>馬</sup>ノ<sup>ノ</sup>藝<sup>藝</sup>ノ<sup>ノ</sup>後<sup>後</sup>世<sup>世</sup>ニ<sup>ニ</sup>ス<sup>ス</sup>タ<sup>タ</sup>ラ<sup>ラ</sup>レ<sup>レ</sup>ナ<sup>ナ</sup>リ  
ナケキヨ<sup>キヨ</sup>リ<sup>リ</sup>手<sup>手</sup>ス<sup>ス</sup>カイ<sup>カイ</sup>馬<sup>馬</sup>手<sup>手</sup>切<sup>切</sup>押<sup>押</sup>モ<sup>モ</sup>ケ<sup>ケ</sup>リ<sup>リ</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>ナ<sup>ナ</sup>ラ<sup>ラ</sup>ワ<sup>ワ</sup>ス<sup>ス</sup>是<sup>是</sup>軍<sup>軍</sup>旅<sup>旅</sup>ノ<sup>ノ</sup>跡<sup>跡</sup>  
ニ<sup>ニ</sup>テ<sup>テ</sup>敵<sup>敵</sup>ノ<sup>ノ</sup>備<sup>備</sup>へ<sup>へ</sup>ニ<sup>ニ</sup>束<sup>束</sup>込<sup>込</sup>付<sup>付</sup>ク<sup>ク</sup>ツ<sup>ツ</sup>ス<sup>ス</sup>ノ<sup>ノ</sup>ナ<sup>ナ</sup>ラ<sup>ラ</sup>ヒ<sup>ヒ</sup>ナ<sup>ナ</sup>リ<sup>リ</sup>夫<sup>夫</sup>ヨ<sup>ヨ</sup>リ<sup>リ</sup>式<sup>式</sup>ノ<sup>ノ</sup>笠<sup>笠</sup>掛<sup>掛</sup>

一 小笠掛<sup>小笠掛</sup>是<sup>是</sup>笠<sup>笠</sup>掛<sup>掛</sup>是<sup>是</sup>シ<sup>シ</sup>ニ<sup>ニ</sup>ノ<sup>ノ</sup>物<sup>物</sup>ト<sup>ト</sup>云<sup>云</sup>騎<sup>騎</sup>射<sup>射</sup>ノ<sup>ノ</sup>三<sup>三</sup>物<sup>物</sup>ト<sup>ト</sup>流<sup>流</sup>鑓<sup>鑓</sup>馬<sup>馬</sup>笠<sup>笠</sup>  
掛<sup>掛</sup>之<sup>之</sup>遺<sup>遺</sup>物<sup>物</sup>シ<sup>シ</sup>云<sup>云</sup>小<sup>小</sup>笠<sup>笠</sup>掛<sup>掛</sup>ハ<sup>ハ</sup>馬<sup>馬</sup>手<sup>手</sup>ニ<sup>ニ</sup>的<sup>的</sup>シ<sup>シ</sup>カ<sup>カ</sup>ケ<sup>ケ</sup>テ<sup>テ</sup>射<sup>射</sup>ル<sup>ル</sup>ワ<sup>ワ</sup>サ<sup>サ</sup>ナ<sup>ナ</sup>リ<sup>リ</sup>大<sup>大</sup>方<sup>方</sup>  
笠<sup>笠</sup>掛<sup>掛</sup>ニ<sup>ニ</sup>違<sup>違</sup>ナ<sup>レ</sup>保<sup>保</sup>女<sup>女</sup>ハ<sup>ハ</sup>違<sup>違</sup>モ<sup>モ</sup>有<sup>有</sup>ナ<sup>リ</sup>ナ<sup>リ</sup>  
一 小笠掛<sup>小笠掛</sup>式<sup>式</sup>ノ<sup>ノ</sup>笠<sup>笠</sup>掛<sup>掛</sup>ノ<sup>ノ</sup>場<sup>場</sup>ニ<sup>ニ</sup>テ<sup>テ</sup>ヤ<sup>ヤ</sup>ク<sup>ク</sup>リ<sup>リ</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>馬<sup>馬</sup>場<sup>場</sup>元<sup>元</sup>ヨ<sup>ヨ</sup>リ<sup>リ</sup>馬<sup>馬</sup>場<sup>場</sup>末<sup>末</sup>へ<sup>へ</sup>通<sup>通</sup>へ<sup>へ</sup>  
ツ<sup>ツ</sup>直<sup>直</sup>ニ<sup>ニ</sup>射<sup>射</sup>ル<sup>ル</sup>ナ<sup>リ</sup>

一 的<sup>的</sup>ノ<sup>ノ</sup>一<sup>一</sup>方<sup>方</sup>八<sup>八</sup>寸<sup>寸</sup>ノ<sup>ノ</sup>折<sup>折</sup>敷<sup>敷</sup>ノ<sup>ノ</sup>縁<sup>縁</sup>シ<sup>シ</sup>放<sup>放</sup>四<sup>四</sup>寸<sup>寸</sup>切<sup>切</sup>ハ<sup>ハ</sup>四<sup>四</sup>寸<sup>寸</sup>ノ<sup>ノ</sup>的<sup>的</sup>ニ<sup>ニ</sup>テ<sup>テ</sup>ル<sup>ル</sup>ナ<sup>リ</sup>



西方<sup>西方</sup>ノ<sup>ノ</sup>端<sup>端</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>キ<sup>キ</sup>サ<sup>サ</sup>ム<sup>ム</sup>ト<sup>ト</sup>ハ<sup>ハ</sup>縁<sup>縁</sup>シ<sup>シ</sup>ヒ<sup>ヒ</sup>キ<sup>キ</sup>メ<sup>メ</sup>ツ<sup>ツ</sup>ワ<sup>ワ</sup>ケ<sup>ケ</sup>ル<sup>ル</sup>ナ<sup>リ</sup>

同<sup>同</sup>串<sup>串</sup>ノ<sup>ノ</sup>長<sup>長</sup>一<sup>一</sup>尺<sup>尺</sup>二<sup>二</sup>寸<sup>寸</sup>藤<sup>藤</sup>シ<sup>シ</sup>塗<sup>塗</sup>テ<sup>テ</sup>用<sup>用</sup>四<sup>四</sup>寸<sup>寸</sup>ノ<sup>ノ</sup>角<sup>角</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>表<sup>表</sup>シ<sup>シ</sup>ニ<sup>ニ</sup>ハ<sup>ハ</sup>リ<sup>リ</sup>  
テ<sup>テ</sup>用<sup>用</sup>女<sup>女</sup>レ<sup>レ</sup>ハ<sup>ハ</sup>ム<sup>ム</sup>ケ<sup>ケ</sup>テ<sup>テ</sup>ト<sup>ト</sup>ハ<sup>ハ</sup>前<sup>前</sup>ノ<sup>ノ</sup>方<sup>方</sup>へ<sup>へ</sup>的<sup>的</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>ヒ<sup>ヒ</sup>子<sup>子</sup>リ<sup>リ</sup>テ<sup>テ</sup>立<sup>立</sup>ル<sup>ル</sup>ナ<sup>リ</sup>



的下へスリヌカシ入トハ甚ルヌカナリ地ヲホリテ其下へ甚ルヌカ  
シテエラカケルヲ落馬レテモ強クキレシキカ為ナリ

的ハ馬場元ヨリ三十三枚ナリサクリヨリ八寸ノキテ立七  
五枚ノ時或五枚ノ時ナリ的一ナシ四十枚四十五枚ノ時ハ  
サハ枚ナリ的高ハ五寸ナリ串出入ニ寸五分ハサムニ寸五  
分一尺二寸ノ串四寸ヒケル故ハ寸ナリ一尺二寸堀テカ  
ノ甚ルヌカシ入エラカケテテフセルナリ切上ニ的ヲ立ル矢取  
ハ上ノ方ニ居  
一矢ノ度四目ノ引目ノヒチサハ

節ハ五節ツキハキ羽ハハノ三ハキ引目ノ本ハ夕フノ本  
目西方ニツク双テ表裏ニ四有依之四目ト云是目ハ三六  
四目ハ表目ハ一又様ニ鼠色ニヌル長四フセ赤<sup>糸</sup>ハキナリ  
其ヲ半引目ト云  
一弓管手ノ度

一日に本式ハ十二騎ナリ十度射ルナリ十騎ニテ十度射事有  
是シ十度ノ小笠掛ト云度ナリ又セ夕笠掛ハ式ノ笠掛  
ニ依テノナリ公方家ノ笠掛ハレツクリニ御ノ字ヲ入私ノ  
笠掛ハ御ノ字ヲ不用射テ高下ノ次第一番ハ賞院ナリ



其次ハ十二番目ナリ其次ニ番目ニ番四番五番六番七番  
八番九番十番十一番ヲカイ下トス其時ノ位ニ依射手ノ定  
一射手数ノ定十二騎本式ナリ十騎八騎六騎或ハ十四騎十  
六騎等勝負ノ時七騎九騎ニテモ射ル人数ノ多少有前  
後ノ次第ハ圍シ以定ルナリ

出場ノ次第

是ハ式ノ笠掛ノ通射手離兵至ニテ装束スルナリ一番ニ杖筆  
ニ番ニ番ノ次第ヲ始ノコトク夫取者馬入ノ内ヨリアシリこ  
行テワクリノ内シ一行ニツラナリ馬場末ノ方ニ通杖筆サイ

ハイノ役者前ハ箱ハシヨリ

止前後ノ矢取ハイノモ加(的一人ニテ十枚ツ持テ  
的ノ前ニ立ルヨリム)

杖筆ナル兵前ニ書ニ枚半ニ

杖シリツキ時ノキハエ井ニヨリツクハイ替的ツキニ置ナリ十二

騎ノ射手ハ式ノ笠掛ノ通り馬場元ノ馬上ヨリ直ニ乗入馬

ヲ右ノカタヘ方廻シ馬場末ニ向馬ヲ建揃左ノ方ニ番

次ニ番ト順ハ馬ヲ建揃ルナリ初一番ノ射手ヨリ段々

弓杖ツキ下馬スルナリ式ノ笠掛ノ通行膝ノスツツ通シ

ホクンシスソヘカケテ馬ノ前ニ立ナラヒ右公貴人一番

ニノリ込馬ヲ右ヘツリテ射テハ立兵違有ノリ込下馬

シテ馬末ニ向又ニ三人モ有時ハイツレ的ノ方ヲ賞<sub>末</sub>扱



トスルナリ

小笠掛射様ノ変

一本又ノ通り同一番ノ射手馬シノリ出しサクリニ向馬シ  
建手綱ヲ右ノ手ニ輪シテ取テ矢ハツシ弦ハカケテ其カヘ  
ヒ式ノ笠カケテ通カノ手ヲ上テ花ノリ廻スナリサクリノ方  
へ二三足ノリ出花ノ廻

帝ノ笠掛ハニツ耳ノ  
向ヨリ矢ヲ出ス



式ノ笠掛ニ違事ハ小笠掛ハ馬ノ右ノ方ニ神道ヲ出スシフカク

ト云コフレシヲヌキ上ルトハ馬ニアタレ故ニ手シ高ク取ルナリ  
勿論鞍ノ内立遠小笠掛ハ花ノ手ニテ右シ右ニヒラク射ル時  
ハ元ハツハ笠ノ取ニ有様ニ射ルヲタシレトウシテセルナリ



此ノ如シ

ノリ<sup>コム</sup>所サクリ一向左へ返し右ノワキへノリ居敷テ四寸アク  
ナリ笠シフニヒラク的ヨリニ<sup>ツ</sup>程前へラヲキエ刀込ナリ



扱矢ヲハナレテラウタシシテ両手ニ一度ニ手綱シ取馬ヲ  
スレ馬場末ノリ通又馬ヲ左ヘヲル

馬場元ニ向テ一番ニ番ト射テ一番ノ射手ノ馬ノカタニ馬  
ヲ立段ノ十二騎共ニ其通皆射シハリテ馬ヲ立揃テ一番ヨ  
リ段ニニツ、イテサクリシ馬場元ノ方ヘ乗通シテ初ノ通  
ニ馬ヲ其内ニ目シ取替アリシモ取替ノ又一番ヨリ一騎ツ、  
走込射あま其通り十度射馬モ馬場末ヨリ馬場一行間七  
尺五寸ツ、ナリ御前通ニ三ノ十度ナカラ礼有共言共ニ礼ハ  
初一度ノ能ク

一十番射シイ馬場末ニテ射手ノ残馬ヨリ下立行膝ヲ返  
スレ前ノ通其持女添ト口付ハ九本目ツ射時ニ馬場末ヘ  
足早ニ降り下馬スル時口付ハ馬ヲヒカヘ女添ハヨリニテモ取テ  
様子能様ニスルク皆シモカイソイモツナリ一番ノ射手ヨリ  
行膝ノスツヲ取先一立女添ハヨリ左ヘ持右ノ手ニ皆シ持  
テ女添ノ跡ニ射手ノ馬ヲ引セサクリノ中ツ馬場元ヘ帰ル  
十二番ノ手其通ニ馬入ノ口ヨリ歩立ニテ出サツ所屋ヘ入  
扱葦サイハイノ役矢取モ段ノ帰ルニ歩行ノ節正面ニテ礼  
アリ



遠笠掛

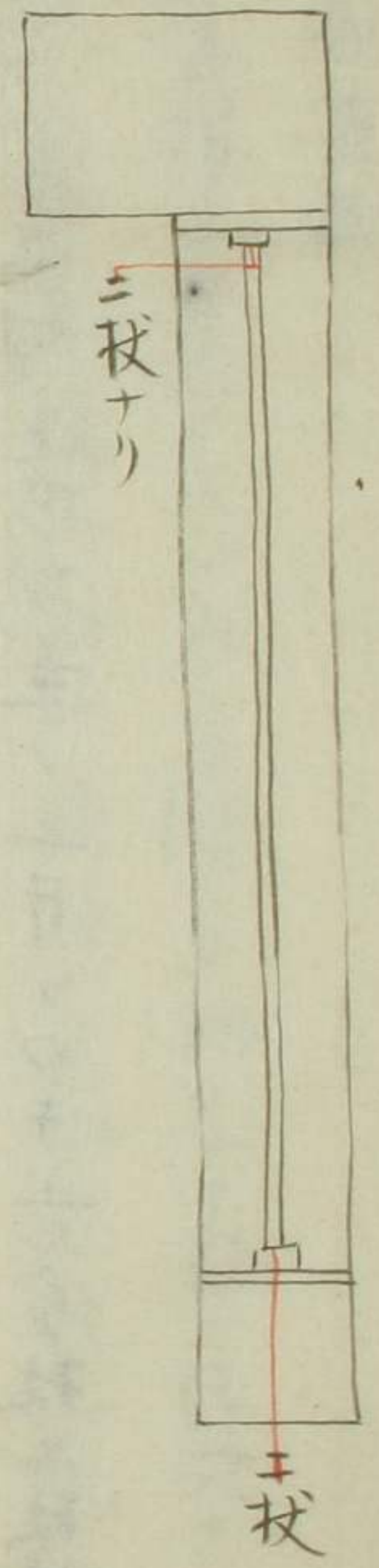
最初ハ馬場ノカタチナシユイカ濱ニテ初タル故ニ法式ナシ  
頼朝公ノ帛垂流鏑馬ハ神ノ騎射大進物ハ大射礼故ニ  
此立掛初タリ珠ニ神夏ニモ射ル<sup>テ</sup>有<sup>ル</sup>テ<sup>ハ</sup>者斗射<sup>シ</sup>コ  
遠笠掛ハ的回掛式ノ笠掛ハ<sup>テ</sup>斗射ル小笠掛ハ馬斗  
射ル夫リニツラニシテ<sup>表</sup>是笠掛ハ射ル夏ナリ遠笠掛ノコト  
秘事有<sup>ト</sup>右向<sup>ト</sup>カサカケ<sup>ト</sup>左樹

古法ハアヤサ笠<sup>シ</sup>的ニシテ射タル<sup>ヲ</sup>ナリ遠笠カケ振<sup>之</sup>ハ新  
田ノ廣ノミテ射初タルナリ其後ユカ濱ノ海邊<sup>ヲ</sup>馬<sup>ヲ</sup>通<sup>シ</sup>

テ其是<sup>ハ</sup>越<sup>シ</sup>ツサリトシテ先ニ返馬<sup>ヲ</sup>通<sup>ス</sup>事<sup>ニ</sup>サリ<sup>テ</sup>能  
極<sup>メ</sup>ニ為<sup>リ</sup>ナリサリノ道<sup>ニ</sup>ハサル時<sup>ハ</sup>的<sup>的</sup>前<sup>ノ</sup>道<sup>ニ</sup>ハサルカ故<sup>ニ</sup>  
依<sup>テ</sup>之<sup>ハ</sup>初<sup>ニ</sup>然<sup>ル</sup>昔<sup>ト</sup>チカイ廣野モ海邊モ<sup>ハ</sup>近<sup>ク</sup>ハナキカ故<sup>ニ</sup>馬  
場<sup>ハ</sup>秘傳<sup>ト</sup>ス馬場<sup>之</sup>馬場<sup>末</sup>シ<sup>ノ</sup>ソキテ長<sup>ク</sup>九<sup>十</sup>六<sup>丈</sup>馬場<sup>ノ</sup>  
内<sup>ノ</sup>廣<sup>六</sup>丈ニテ<sup>ハ</sup>真<sup>中</sup>ノ一<sup>枚</sup>シ<sup>ハ</sup>土<sup>井</sup>ノ式<sup>ニ</sup>用<sup>ニ</sup>ニ枚<sup>半</sup>ツ<sup>ハ</sup>  
ノ馬場<sup>ナリ</sup>中<sup>ハ</sup>土<sup>井</sup>ナリ<sup>ハ</sup>土<sup>井</sup>ノ高<sup>三</sup>尺<sup>八</sup>寸<sup>兩</sup>方<sup>ヲ</sup>急<sup>ニ</sup>ニツ  
キ立<sup>芝</sup>ツク<sup>ク</sup>馬場<sup>之</sup>馬場<sup>末</sup>ノ土<sup>井</sup>ノワキ止<sup>リ</sup>テ<sup>ハ</sup>枚<sup>ニ</sup>枚<sup>横</sup>  
ニツク

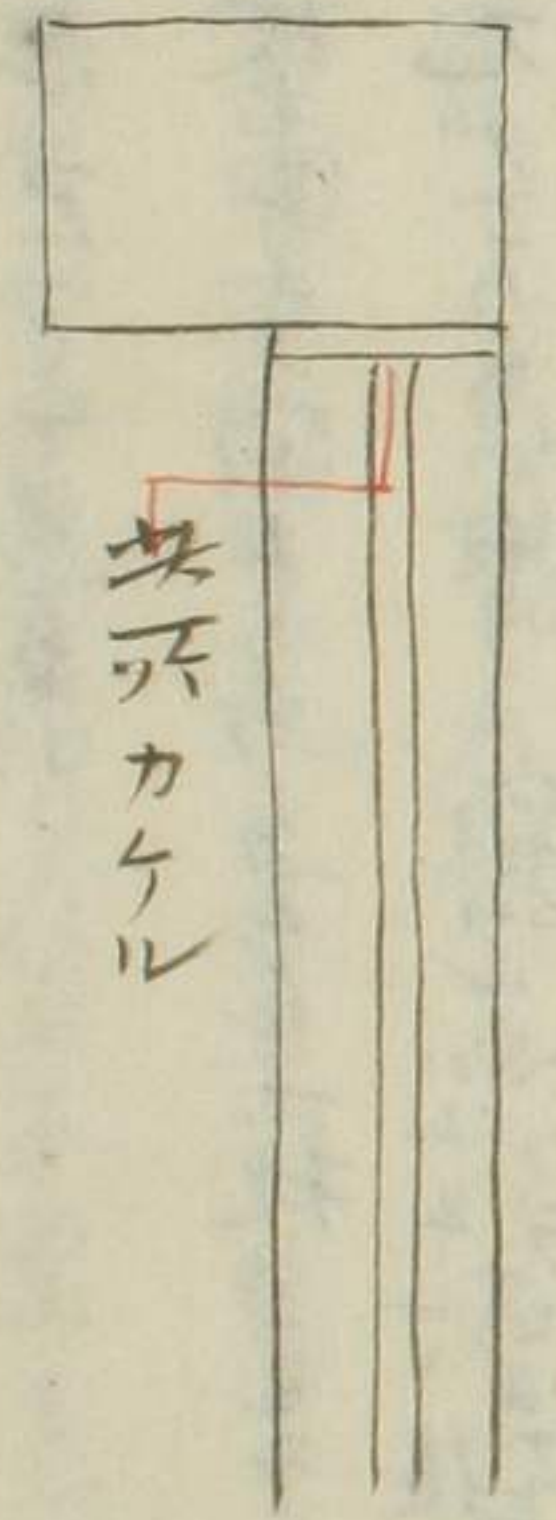


然らば一坊フイト一尺六寸高三尺八寸土井ノ左右モ馬場  
 ニ用ル右シ一馬場ト云左シ二馬場ト云馬場ノ廣ニ枚半  
 ツ又曰馬場ノ左右ニ高一尺七寸ハフシニ尺ノ土井ヲ築其上ニ  
 芝ヲツケル共ハフシノ上ニ弓手ノ方斗ニケク時ヲ結馬入  
 ノ廣馬場元式ノ笠掛ノアセリ通ニ九枚横七枚ニスルナリ  
 馬場末ハ直ニシテ六枚ニ九枚西方ノ馬場共ニサクリソハ無



シスナシシキ馬立穴ト馬場ノサカニ大繩ヲフセテ是ヲ  
 地ノ繩トス式ノ笠掛ノ通馬場元馬場末共ニ同前ナリ馬  
 場元ノ馬入ノ口ハカリ屋形ノ方ニアケル矢放穴ハ馬場元ヨ  
 リ右ノ<sup>右ノ</sup>

三番ヲ遠山ノ的ト云馬場元ノ子カイ土井ノ上ニ二ノ馬場ノ  
 境ニカケル



四番ノ的ヲ横ナキノ的ト云馬場元ノ土井ヨリ四十三枚半ニ打場<sup>的</sup>



ツカクルナリ

的ツカケルアツケノ事

一的ツハ埒ヨリ七枚ニオテのかわヲカケル一枚ヨセテ的ヲカケル一  
的ツハ馬場元ノ方へハムリテ掛ルハムケルハ後ソラセルナリニ的ツハ埒  
ヨリ六枚ニオテ的皮シ一枚ヨセテ五枚ニ的ヲカケルニ的  
ハ馬場場末ノ方へハムケテカケル

遠山ノ的ヲハ二ノ馬場ノサカイ邊土井ノ上ニ的皮シ立  
矢夕ケヨセテ的皮シ立ル横ナキノ的ヲハ馬ノサクリヨリ  
八寸ノケテ的シ立ル小笠掛別段上埒ノ結核遠山和笠掛ノ最初ナルハ二枚ニ埒ナシ通ツ走其足跡ヲサクリ

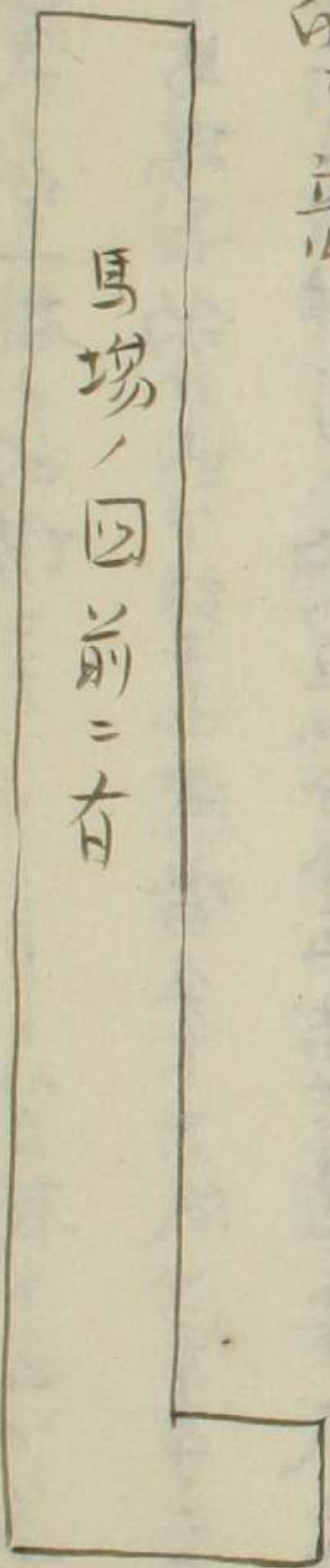
トシテ射タル支ナリ初ニ下河邊庄司行平イツレノ馬場ニ  
モ行平カノリタル跡ヲサクリト定タル支ナリ是乃馬ノ達  
人ナル故ナリ行平シ馬場預リトス其後流鏑馬ノ法ヲフ  
ヘテ馬場ノ度量シ定依埒ヲモ結ナリ然共サレヲナシ  
ハフケノ如クニナシケタラナリ其仕様ハ的ノ通ニ六尺  
ヨリ杖アケテ可置一ノ馬場ノ方ハカリ片ナシニ土井  
ノ上ニ埒ヲ結其高一尺八寸九本ヲ一同ニトニ立在本ヲ以  
カサ本ヲ打横フチニ夕通結テ笠木黒モシニサ秋ツ取  
ソヘテ丸サ渡リ一尺ニ寸丸サニクルニテ結下ラハ一同ノ内ニ



六尺是モ里モンシハキラ取添テフトサ五寸丸シ三造テ  
立木横フケニ倍付矢放所シハ右トモニ式ノ笠掛ノ  
フトク高一尺五寸ニ式ノ笠掛ノ通りニ持ニ倍男持女持  
ノ倍様モ式ノ笠掛同前ナリ

的皮同串ノ夏式ノ笠掛同前ナリ其の皮ハ二ノ的ト遠  
山ノ的ト三尺の四尺ナレ其横ナキノ的ニナレ  
的ノ夏本文ノ通り秋共的アイ遠キ中遠キ故ニ近代  
一ノ的ハ六枚ニ的ハ五枚ニ立サクリヨリ一ノ的ニ扇子ヲ五  
ケニヒラキテ串ニ奉ニ扶シテ高地ノ上八寸ニ立ルニ的ニ

四寸是ハ四寸四方ノ角ナリ串ニ奉ニサシテ地ノ上九寸ニ  
立ル遠山ノ的ニ六杏ヲ串一本ニサシテ地ノ上六寸ニ立ル  
横ナキノ的ニタトフ低シ串一本ニサシテ地ノ上八寸ニ  
立ル的ノ表シ馬場元ノ方ニシテサレハムケテ立ルナリハム  
ケル其ハニオナリ後ハソル夏横ナキノ的ニ串ヲ立ル其ノ  
土ヲ一尺三寸堀テスレヌリツ入上ハエツカケル其上ニ芝ヲフセ  
テ的ヲ立ル



馬場ノ四前ニ有



又曰式ノ笠掛ノ的場ニテ——笠掛ト云ナリ式笠  
掛ノ馬場ニ的ノ内アフキ四半皆タトフ依シテ手ニ馬  
手ニニ立テ射ルシ遠笠カケト云然共是ハ本式ニテハナ  
シ略義ナリ

又曰ハ的ハ——云之

ハ的ノ曲節トテヒキシモ有是ハカハルヌナレ流鑄馬ニテ  
ハ秘事トス曲ハワフワノ変ナリ節ハ程能ト云ナリ竹ノ  
節ハ程能ト云ナリ程能射ルト云ナリ流鑄馬ノ秘傳  
トハ一ノ的ニ扇子トタトフ紙ノ間ニ枚ハタテナラヘテ

立ルニ的ニ花ト本ノ葉ヲ向ニ枚ハタテ、并ニ立ル遠山ノ  
的ニ四半ト皆ヲ向ニ枚ワ、ハタテ、ナラヘテ立ル横ナキノ  
的ニカラカイシ立ル其通ノ一ノ馬場ニアツヒカイシ立  
射ル射様ハ一ニ馬場ヲ二騎番テ二正テ射ル馬場元  
邊土井シ両方ヨリ乘違テ遠山ノ的ヲ押モリニ射ル  
切横ナキノ的ヲ射テ馬場末ハ走通四ノ的ハ中馬モ  
ハヤケレハ其射手ノ勝ト定是ラ馬ノ勝負ナリカリヤ  
カタニテ日記ノ付テ射手離只屋ノ変ハ何モ式ノ笠掛  
ノ通



一 弓ノ夏式ノ竹ノ通白木ニテモヌリ木ニテモ射ル尤白木ハ  
向弦ニヌリ木ハヌリ弦ニ

一 矢ノ夏曰一子神道ナリサハシノニサ即カサハツトテノヨリハツ  
ク太クス此九分廻ナレハハツハ一寸ニスルナリ羽ハキレノ女鳥ノ  
羽ハフシヨリニ枚目ノ羽ツトル夫故キケニ羽ニテ漸ク一  
手ニナル夫ツニ鳥揃ノ矢ト云又コリハキトテ羽ノ片ハ  
シムシリテ付ルナリ常ノ矢ハ羽コトワリテ付ル夫ツワラ  
スニムシリ取ナリコリハキハキ方有カタヨリノ糸ニテハキア  
カタヌルナリモシ又クハカノ羽ヲ用トモハカイニ枚目ノ羽ナ

リハタケトハ四寸四分シテ先ホソニス神道ハヒイラ木長  
ハ二寸五分ニ節ハ腰ニサレ本ハ手ニ持ナリ又ハ四目ノ目ニ  
テモイルナリユエ手ハハ口ヨコ手流鑄馬ノ射籠手ナリ  
杖ユエ手ニモ色ハノ名此フシモシハハセイコウシ杖内ハモノハ葉五  
ハ紋ハ外生物  
シモヒヤウモンハ三色ニ染ル地色アサキナレハ紅モヨキシハ  
ナリ裏ハカタ色ナリ尤ヌリナリ紅梅オタシハシモシケ水仙  
ノ名ナリ

行膝射カケ皆式ノ笠掛同前ナリ策ハ竹根ノ策ナリ  
流鑄馬ノ如クヨリ司二人有杖ニハ策ハ能柳ノヌリ策



ナリ新皆具式ノ笠掛同前ナリ

日記名又ハ遠笠掛ハ十四騎又ハ十八騎或ハ十六騎十二騎ニ

テモ射ルナリナラレテ一人前ニテ五度ツ、射ルコナリ馬場

シニ返走ル故或<sup>式</sup>ノ笠掛ノ通ニ十度ヲ射又十騎ハ騎ハ

騎ニテモ射ル射手ノ高下ハ式ノ笠掛同前ナリ日記ニハ

ツノリニ遠笠掛ノ射手ト書テ名字官途ヲ書テ其外

ニ星四ツ、ウケテ ○ ○ ○ ○ <sup>遠山</sup> <sup>ヨシ</sup>

星ノカタニ一ニ遠山横矢ト書テ夫ハ初邊ノ日記ナリ五度

射ハ其通五枚認中ニハ星ソケスナリ

一遠笠掛ノ射手ノ事名字官途 ○ ○ ○ ○

遠笠掛ト名付テ式ノ笠掛ニ順レテ十二騎ニテ射ルコト

文ノコトシ

一遠笠掛射手装束ノ変是ハ軍旅ノ皆古ニ射ルコト

アナカキ装束シモ正サス流鎧馬ノ通胴衣ニ着袴シ

着左右ニ<sup>諸</sup>ユカケツ指ス皆行膝策ヲサスナリ

其書ハ常木氏秘書ハ其巻ハ其秘書ニ付堅他

見毎用ナリ







